

# はあもにい

第 39 号

第 39 号 発行/令和 3(2021)年 9 月 29 日 藤沢市青少年指導員協議会 発行責任者/猪野恭子 編集/広報委員会

## 「未来ある子どもたちのために」

藤沢市子ども青少年部 部長 三ツ橋 利和



本年4月に子ども青少年部長に就任いたしました三ツ橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。  
青少年指導員の皆様には、日頃より本市の青少年の健全育成、非行防止に向けて多大なるご尽力をいただき、心からお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行は、感染拡大防止のために、長期間の自粛生活を余儀なくされ、さまざまな社会環境の変化をもたらしました。子どもたちは日々不安を抱え、つながりの希薄化のもと孤独・孤立の問題がより顕在化してきております。こうした社会環境を背景に、将来を担う子どもたちへの支援は、家庭、学校、地域等が一層の協力・連携をし、複雑に変化する課題に対応するためにも、社会全体として支えていくことが重要であると考えております。

青少年指導員の皆様の活動は、子どもたちの健全育成と非行防止をはじめとし地域における重要な役割を担っております。未来ある子どもたちのために、引き続きご支援・ご協力をたまわりますようお願いいたします。

## 全体研修会

6月24日(木) 藤沢市民会館 小ホール

### 「健全と多様性～ジェンダー/セクシュアリティの観点から」



講師 神奈川大学法学部教授 井上 匡子 氏



#### ～講師プロフィール～

北海道出身。北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了  
日本学術振興会特別研究員 北海道大学法学部助手・講師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部助教授 神奈川大学法学部助教授を経て、2007年より現職。  
かながわ自殺対策会議、神奈川県男女共同参画審議会にも参加。  
ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会(9月1日名称変更)では副会長として活躍されている。

ジェンダーと聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。出生時の身体的特徴により性別が決められますが、性のあり方はもっと多様で複雑です。ジェンダーとは、社会的・文化的に作り出された性差ですが、性の要素は生物学的性・性自認・性的指向・性表現の4つがあるとされ、さらには性の多様性を表す SOGI (ソジ・すべての人の性のあり方) も使われるようになっていきます。多様な性のあり方を尊重し理解することが大切であり、ふだんの生活の中で無意識のうちにしている「ふつう」「ふつうじゃない」といった「**区別をしない**」ことが、差別やいじめのない社会につながっていくのではないかと感じました。

## 青少年夏期特別街頭指導パトロール

7月20日(火)～8月20日(金)

夏期休業期間中、青少年課主催で藤沢駅・湘南台駅周辺の夜間パトロールを行いました。



**御所見地区 「なかよし砦(とりで)のクリスマス会」**

御所見地区では、地域子どもの家のクリスマス会に、エブロンシアター、紙芝居、ブームワッカーの演奏、ふじキュンと一緒にみんなでダンスなどアトラクションとして参加しています。エブロンシアターの「おかえしのおかえし」は子どもたちにとっても好評でした。



**湘南台地区 「丸太小屋のイベント」**

丸太小屋のイベントに参加して、ゲームや紙芝居、ハンドベルの演奏などを行っています。クリスマス会では、見守る人、運営委員会、小学校の校長先生方と協力し、工作と音楽会を行いました。子どもたちの笑顔から元気をもらい、みんな楽しく活動しています。



**六会地区 「じゃがいも掘り」**

地区内の畑で、小学校5校の児童を対象に募集・抽選を行い少人数制で実施しました。お天気にも恵まれ、じゃがいももいっぱい収穫できたので子どもたちもニコリ ^\_^



**長後地区 キッズフェスティバル 「ターゲットバードゴルフ」**

生涯スポーツのターゲットバードゴルフを小学生対象で行いました。参加者もスタッフも初めての事業でしたが、試合数を重ねるにつれ良いスコアも出るようになり校庭は子どもたちの笑顔と歓声でいっぱいになりました。



**遠藤地区 「フォトオリエンテーリング」**

さわやかな秋晴れの10月中旬、フォトオリエンテーリングを行いました。地図と写真を頼りにグループに分かれて地域を探索し、タイムを競い合いました。



**藤沢西部地区 「冬のクラフト」**

クラフト作りの材料にはスタッフの収穫した木の実・枝・葉などの自然材料をそれぞれ工夫して組み合わせ、オリジナルの作品を作ります。



**私たち、地域でこんな活動しています。**

青少年指導員は、本協議会の活動の他に、各地区青少年育成協力会などで活動を行っています。



市の鳥「カワセミ」

藤沢市14地区

**湘南大庭地区 「看護師による講演」**

青少年指導員で専門看護師の後藤さんより、コロナ禍での子どもたちの置かれている環境について、地域の方々へ講演いただきました。



**明治地区 「わかざりづくり」**

お正月を飾る伝統の「わかざりづくり」今回は事前申し込み制、感染対策に細心の注意を払っての実施。それぞれの願いを込めてワラをなっていく子どもたちの真剣な表情、完成した時のとびっきりの笑顔に、工夫を重ねて実施できた喜びもひとしお。



**善行地区 子どもフェスティバル2021 「ぜんぎょうっ子 三行詩」**

コロナ禍の状況でも実施できる事業として企画した「三行詩」です。3つのテーマから選び自分の考えや想いを3行の短文で表現します。地区内の小・中学校の協力もあり多数の応募がありました。子どもたちの素直な文にほっこりしたなど嬉しいお言葉をいただきました。



**片瀬地区 「わくわく教室」**

小学生を対象に「プロジェクション×射的」「けん玉」「ダンス」「工作：ふじキュンキーホルダー・リボンレイストラップ」を、地区子ども会連絡会・公民館と共催で、申し込み制で行いました。参加賞は、オリジナル缶バッジ。真剣でそして楽しそうにしている子どもたちと一緒に過ごせて、こちらも笑顔になりました。



**辻堂地区 「秋の恒例行事 芋掘り」**

かつて、辻堂の特産物であったさつまいも。その歴史を学び、収穫の体験をしました。コロナ対策をしてお催しでしたが、そこには土に触れる子どもたちの元気な姿がありました。



**鶴沼地区 「地域と共におかえりなさいパトロール」**

青少年指導員、地域、小学校が協力して、10年以上コツコツ続けてきました。地域、子どもたち(1年生中心、低学年)にも、ようやく認識してもらえるようになってきました。みんなで見守りの意識高く頑張っています。



**村岡地区 「じゃがいもほり」**

6月に地区内の畑で、行っています。コロナ禍の中、2回に分けて小学生と高校生ボランティアが参加して、土の感触を素手で感じながら収穫を楽しみました。



**藤沢東部地区 「フィールドビンゴin遊行寺」**

地域の中学生、小学3年生以上の児童を対象とし、学校・学年関係なくグループを作ります。地元、遊行寺を散策しながら史跡を探しビンゴカードを埋めていきます。初対面の子も次々に仲良くなり地元の名所を知ることができ楽しい時間を過ごしました。





# 青少年にとってのよい環境を考えるつどい 7月15日(木) 藤沢市民会館 大ホール 『思春期のこころと性 ～若者たちがもめていることは～』



講師 オフィスいわむろ代表

いわむろ しんや  
岩室 紳也 氏

## ～講師プロフィール～

1981年自治医科大学医学部卒業後、神奈川県衛生部健康普及課へ入庁。同年横浜市立市民病院研修医として従事し、1983年神奈川県立厚木病院泌尿器科にて勤務。その後、神奈川県立青野原診療所、神奈川県立がんセンター、津久井保健所、秦野保健所、鎌倉保健所、平塚保健所、厚木保健所、厚木市立病院に勤務する傍ら、県衛生部医療整備課、(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターにも勤務。現在は厚木市立病院泌尿器科に勤務しながら、ヘルスプロモーション推進センター(オフィスいわむろ)代表に就任。

また、定期的支援として、千葉県浦安市や東日本大震災の被災地である、岩手県陸前高田市、宮城県女川町にてアドバイザーとして参加、2019年から獨協医科大学非常勤講師も勤めている。

「イマドキ男子をタフに育てる本」(日本評論社)など、性に関する多数の著書、共著がある他、テレビ・ラジオなどのメディアにも出演している。

この講演会は、内閣府主唱「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取り組みとして、毎年7月に実施しています。

開催にあたり鈴木市長のあいさつののち、岩室紳也氏に講演していただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場は本協議会関係者のみとし、多くの方に視聴していただけるようオンライン配信も行いました。岩室氏は「若者は大人の、他人の失敗体験を聞きたい。でも大人は正解を伝えるだけ。」さらに「人は経験に学ぶものだ。」など、さまざまな事例を挙げて説明されていました。

正解をただ伝えるだけでは、相手(子どもたち)の心に響かず、何故それが大事なのか、必ず根拠を添えることが大切であるということでした。また、近年若者たちを取り巻く社会環境の変化(オンラインゲームやSNSなどの急速な発展と普及)がコミュニケーションそのものを取りづらくして、周囲とのつながりを希薄にしていると警鐘を鳴らしていました。

家庭や学校などにおける心理的に安心安全な場『居場所』の提供がとても重要であり、その『居場所』こそが、若者たちがもめているものだとして力説され、自分自身も主体者として若者たちに向き合わなければならないと痛感しました。オンライン視聴者からのアンケートには、「思春期教育で何を大切にするのかを思い出せた」「支えあってつながりを大切にして、子どもたちの健全な育ちをサポートしたい」などの声が寄せられました。



## 青少年指導員の活動について パネル展示

7月17日(土)～7月29日(木)  
藤沢市役所 1階ラウンジ



コンサート開催のお知らせ

## JUMP UP U-20 WINTER CONCERT



2022年1月30日(日)

会場 藤沢市民会館 大ホール

♪中学生以上 20歳以下の青少年による音楽活動発表の場です。

※入場無料

**編集後記** コロナ禍の状況の中、事業を中止または規模を縮小しながらできることを実施しています。紙面を通して青少年指導員活動に理解を深めていただくと幸いです。